

男女共同参画フォーラム in 薩摩川内

あなたが あなたのままで尊重される社会に向かって ～「みえない」壁を超えていきたい～



**参加
無料**

☆平成24年
10月13日(土)
13:00～16:45(12:30受付開始)

☆薩摩川内市国際交流センター
手話通訳・託児あり(6ヵ月～小学校低学年・要予約)

13:00【ワークショップ(分科会)】

- 『～子どもへの暴力のない社会を～』
[せんだいCAP]代表 寶蔵もと子さん
- 『つぶやきから見える 男女共同参画』
[川内ぱれっと]代表 橋口秀子さん
- 『知っておきたい社会保障制度のしくみ』
[北薩女性土業交流会]代表 吉永垂矢さん
- 『愛ってなかに ～台湾からの留学生に学ぶ～』
[鹿児島純心女子大学 学生サークル S&I]
部長 福留美加さん

～休憩(移動)～

14:40【ミニライブ】

シンガーソングライター 永山 淳さん(本市出身)
曲目
「同じ空の下」「僕は絶対強くなる」「FRAME」

15:15【基調講演】

演 題 「見えない世界で生きること」
講 師 (社)京都府視覚障害者協会副会長
松永 信也 さん(川内高校卒)

16:45 閉会

☆ 講師とのプチ・トーク(閉会后 交流サロンにて開催)

市民一人一人の人権が尊重され、誰もが安心して快適に暮らせる男女共同参画社会の実現を目指して、フォーラムを開催します。

今回は、さまざまな立場の人々が共存している社会の中で、あらゆる困難な状況に置かれている人々に対する、人権尊重について注目しました。人が人を信じられる社会の大切さ、そして理解と共感の広がり「みえない」壁を超えられることを願います。

【基調講演】

講師

まつなが のぶや
松永 信也さん

(社)京都府視覚障害者協会副会長



■松永信也さんのプロフィール

- ・1957年生 鹿児島県阿久根市出身、京都市在住
- ・1975年3月 川内高校27期卒
- ・佛光大学社会福祉学科卒
- ・京都市内の養護施設に児童指導員として勤務
- ・10歳の時に難病の網膜色素変性症と診断され、40歳目前に失明・退職
- ・京都ライトハウス生活訓練終了
- ・京都福祉専門学校・京都YMCA国際福祉専門学校などで非常勤講師を務める。
- ・中途失明者として、大きな葛藤を経て「見えないこと」を受け入れるとともに、「見えない世界」を生きる自らの体験を書きつづけた『風になってください 視覚障害者からのメッセージ』法蔵館、『見えない世界で生きること』角川学芸の著書出版
- ・視覚障害者の当事者として、「見えない」ということが、どんな事かを具体的に伝え、どんな支援が必要か伝える活動を継続中
- ・NHK「福祉ネットワーク」、「生活ほっとモーニング」にて、彼が子どもたちに「見えない世界」を伝える授業・講演活動が紹介されました。

【問合せ】=薩摩川内市 企画政策部 コミュニティ課 男女共同参画グループ
〒895-8650 薩摩川内市神田町3-22 ☎(23)5111(内線4621) ☎(20)5570 ✉sho-gender@city.satsumasendai.lg.jp
*託児は事前申込が必要です。お問い合わせください。

【申込方法】=10月5日(金)までに、薩摩川内市にハガキ・ファクス・電話・電子メールなどでお申し込みください。
定員400人(定員になり次第締め切ります。)

台湾からの留学生に学ぶ

鹿児島純心女子大学学生サークルS&I 顧問 谷崎和代准教授

鹿児島純心女子大学には毎年台湾から7、8人の交換留学生がやってきます。その内の3人がS&Iに入学しました。S&Iは学校を訪問して、中高生や保護者の皆さんに、性教育を含めたデートDV防止啓発活動を行っているボランティア団体として知られています。しかし、本来の目的は、公的な場での講演活動だけではなく、自分のために、また、自分の身近な友達や姉妹・兄弟のために、学習したことを生かしていくことです。学ぶことによって自分や周りの人が、デートDV被害に遭っていることに気付いたり、逆に自分が加害行為をしていたことに気付いてはったり、またはメディアが流す間違った性情報に惑わされていることを認識することができます。



S&Iに入った3人の留学生は、文藻外語学院3年生の黄 琳さん、趙子儀さん、姜 茹華さんです。彼女たちに、日本に来て受けた印象をS&Iの活動の観点からインタビューしてみました。

- 谷崎：日本に来て何か驚いたことがあるそうですね。
- 趙：子どもたちが読んでいるSEXシーンがいっぱいの漫画にびっくりしました。台湾なら「18禁」なのに、日本では小中学生でも簡単に本屋さんで買えるなんて、ありえないと思います。日本のコンビニには成人向け雑誌も並んでいますが、台湾では考えられません。
- 黄：アダルトビデオを小中学生でも見ている可能性があると聞きましたが、未成年がアダルトビデオを見るのは絶対ダメです。もともと成人向けのもので、その内容は嘘が描かれているということ、子どもたちに知らせる必要があります。
- 谷崎：もし付き合っている相手が、こちらが嫌がっても性行為を求めてきたらどうしますか？
- 姜：まず自分の気持ちをはっきり伝え、それでも続けるようであれば、相手を蹴ってその場を離れます。緊急の際には110番します。もちろんそんな相手とは別れます。
- 谷崎：台湾では性教育はいつ、どこで、どのように行われていますか？
- 趙：学校では主に、子宮の働きや月経について教えられます。異性関係については、家庭で親から教えられます。子供の時から自分の体は大事だから、他の人に触られたら、きちんと断るようには言われています。よく知っている人でも、ちゃんと断らないといけないと親に教えられました。
- 谷崎：それは女の子だからですか？男の子の場合は、親からはどのような注意を受けるのですか？
- 黄：私は兄がいて、うちでは父も母も兄に話します。兄が大学時代に彼女ができた時、母は「もし彼女と性的な関係にはいるなら、必ずコンドームをつけてください。彼女が妊娠したら大変です。」と兄に言いました。
- 谷崎：台湾の高校生は、高校時代に性行為を経験することについてどう考えていますか？
- 姜：台湾の人は、自分の性的な話を他人にしません。もしそういう話をしたら、おかしいと思われる。

彼女たちの話を聞いていると、日本と大きく異なる点が明らかになります。

- ①台湾では、露骨なSEXシーンのある漫画には「18禁」表示があって、未成年が簡単に入手できないシステムになっているということ。
- ②性教育は学校でも実施されているが、家庭できちんと、特に異性交際について指導が行われているということが日本と違います。家庭によっては幼稚園入園前から、「プライベートゾーンを守るように」、「嫌なことは嫌とはっきり断ること」が徹底されています。高校生の性経験率は日本より低いのですが、台湾にも経験者はいます。ただ彼女たちは経験があったとしても、性というプライベートな話題について、決して他人に話さない、親友であっても話さない、話すこと自体が恥ずかしいことと捉えているところが日本と大きく異なります。



男女共同参画フォーラムのワークショップ4「愛ってなかに ～台湾からの留学生に学ぶ～」で、詳しい話を聞いてみませんか。次世代を担う子どもたちのために、今私たちができる事を一緒に考えてみましょう。

※ 性的・暴力的描写があるという理由で、18才未満の鑑賞や購入を禁止すること。